

LAMP® 重量用上吊式引戸 FD80-H 上ローラー扉木口掘込 デュアルソフトクローザー仕様 施工説明書 品番：FD80DHCHP

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

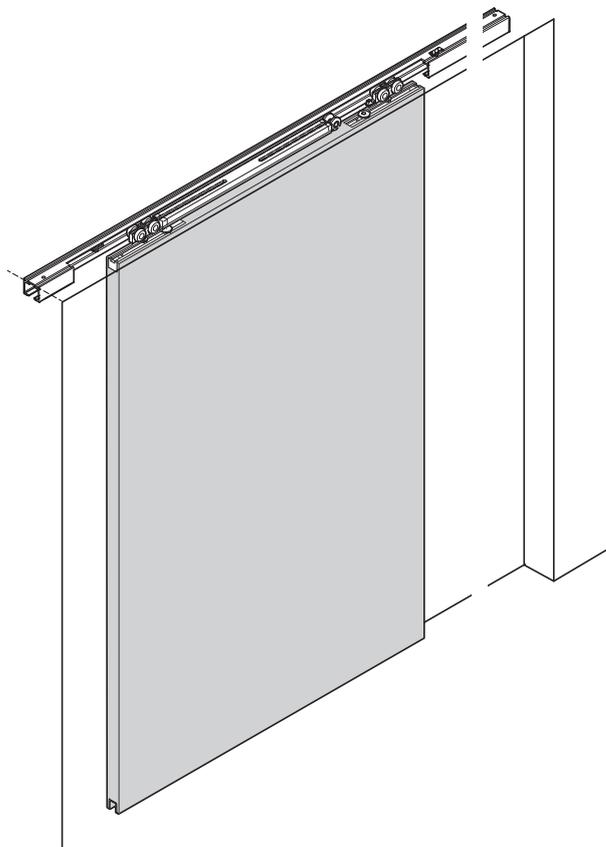
本製品について

- 扉を戸先と戸尻の双方にゆっくりと静かに2段階で開閉させることができる、重量扉用の引戸金物です。

仕様

扉高さ	2500 mm 以下	2501 ~ 2700 mm
扉幅	784 mm ~ 1500 mm	850 mm ~ 1500 mm
扉厚	34 mm 以上	
扉質量 (1 枚当り)	80 kg 以下	
扉上下調整範囲※ ¹	上方向に 1 mm、下方向に 4 mm	

- ※¹ この製品には、扉の前後調整機能はありません。
- ・使用場所の温度、操作方法および取付状態などにより、ソフトクローズ機構による扉の閉じる速度は変わります。
 - ・使用推奨温度範囲は 5℃～40℃です。



正しく安全に施工していただくために

図記号の意味

 警告 注意	 禁止	 厳守
---	---	---

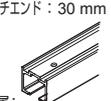
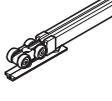
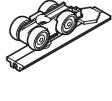
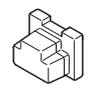
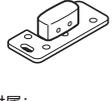
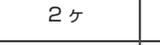
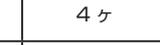
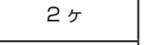
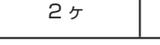
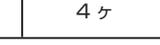
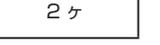
警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。

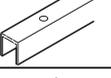
- ① 本製品の施工は、知識、経験のある方が本書に従い正しく行ってください。施工に不備があると、扉の脱落などにより思わぬけがをするおそれがあります。
- ① 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐える強度の枠を製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、扉が脱落してけがをするおそれがあります。
- ⊗ 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ⊗ 本書で説明する部分以外の分解、および改造はしないでください。

注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

- ① 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- ① 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずがレールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- ① 本製品は建具を構成する為の部品です。施工後に、最終製品としての機能及び安全性をご確認いただくとともに、使用者へ建具を安全に使用するための注意喚起もしてください。
- ① ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください（お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安にしてください）。

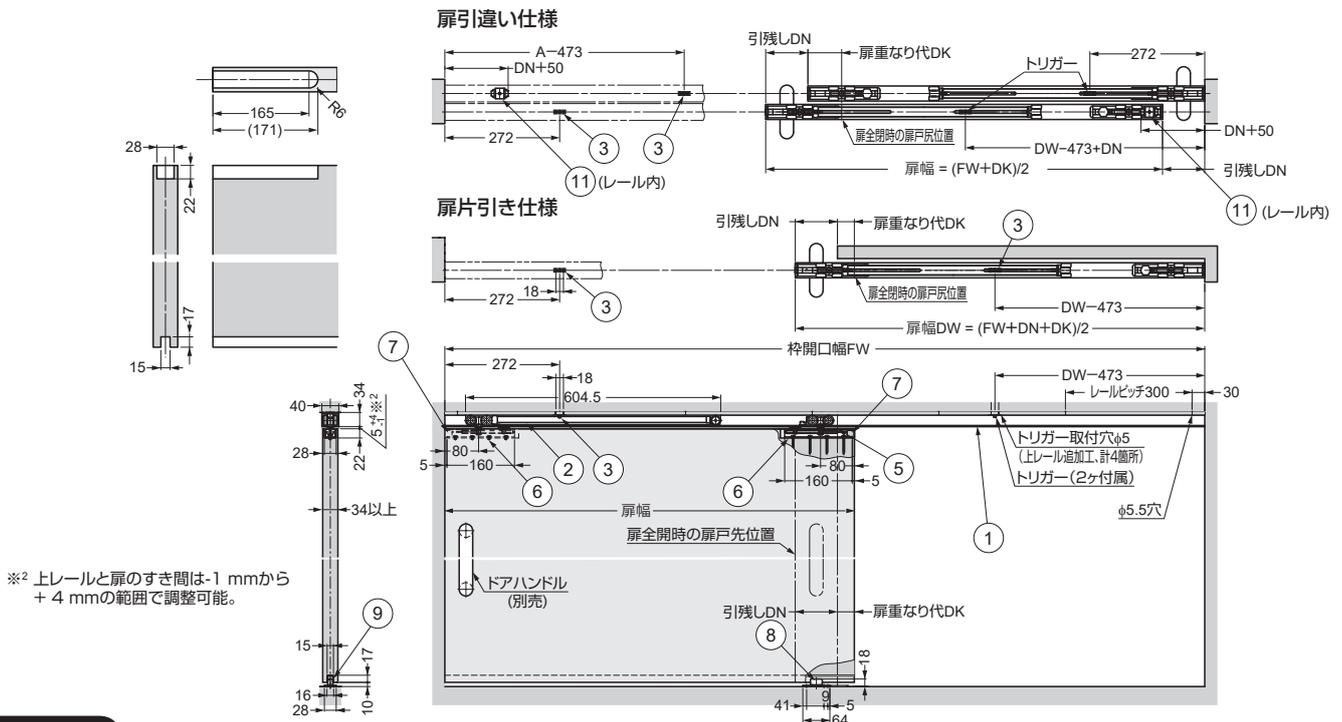
部品一覧

No.	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
品名	上レール	デュアルソフトクローザー(掘込用)	トリガー	トリガー取付治具	上ローラー(掘込用)	ハンギングブラケット	エンドキャップ	下ガイドS
品番	FD80-TRM型	FD80-WRH-DSC		FD80-TRJ	FD80-WRH	FD70B-HB160	FD70B-EC-BL	FD50-BG18
部品	2000 mm ~ 3640 mm 穴ピッチ : 300 mm ピッチエンド : 30 mm  付属: 十字穴付なベタッピンねじ 5×40……穴数分	 付属: 六角レンチ 3	 付属: 十字穴付皿タッピンねじ 4×30(D6) … 4ヶ		 付属: 六角スパナ 3	160 mm  付属: 十字穴付なベタッピンねじ 5×40…… 4ヶ	ブラック 	 付属: 十字穴付バインドタッピンねじ 4×16…… 5ヶ
片引き	 1本	 1ヶ	 2ヶ	 1ヶ	 1ヶ	 2ヶ	 2ヶ	 1ヶ
引違い	 2本	 2ヶ	 4ヶ	 2ヶ	 2ヶ	 4ヶ	 4ヶ	 2ヶ
引分け	 2本	 2ヶ	 4ヶ	 2ヶ	 2ヶ	 4ヶ	 4ヶ	 2ヶ

⑨	⑩
扉下埋込みガイドレール FD30-HBRT1500SIL 1500 mm 穴ピッチ : 250 mm ピッチエンド : 30 mm 	調整スパナ FD80-HHSP  呼び 13.22
1本	1本
2本	1本
2本	1本

オプション	No.	⑪	⑫	⑬
	品名	ストッパーブロック	戸当り(床付用)	エンドキャップ
	品番	FD80-HSB	FD30-HTKY	FD70B-EC-WT
部品	 引分け戸の場合、上レール⑤に2ヶ組み込んで使用	 扉を縦枠に当てない場合に使用 付属: 十字穴付バインドタッピンねじ 4×30…… 3ヶ	 ホワイト	

寸法図



施工手順

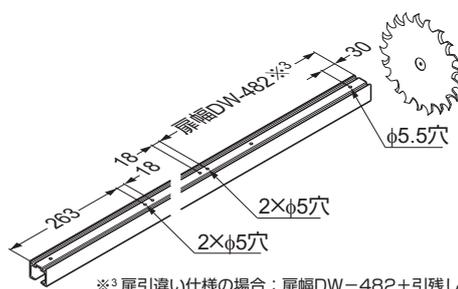
本書では、扉片引き仕様を例に説明しています。

1 取付前の準備、取付け

[1] 上レールの切断・穴加工

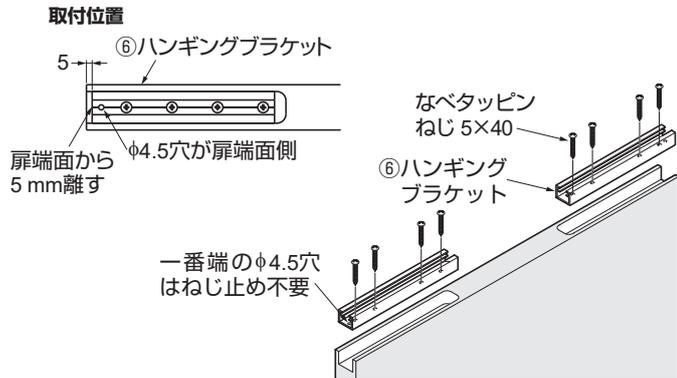
注意

- ① レールが変形しないよう、補強材などを入れて切断してください。
- ② 上レール内のごみやアルミの切粉などは、きれいに取り除いてください。



※3 扉引違い仕様の場合：扉幅DW-482+引残しDN

[2] ハンギングブラケットの取付け

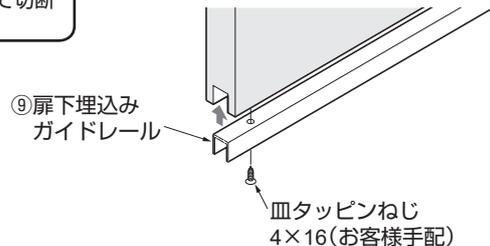


[3] 扉下側埋込みガイドレールの取付け

切断長さ＝扉幅

注意

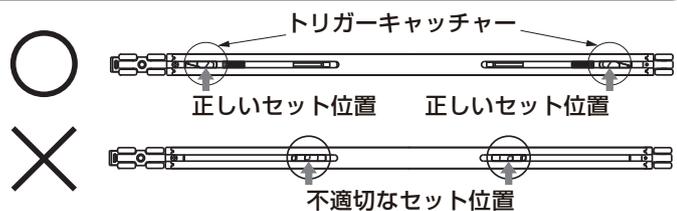
- ① レールが変形しないよう、補強材などを入れて切断してください。



[4] ソフトクローザー取付前の確認

注意

- ① 確認しないで取り付けた場合、扉が引き込まれない故障の原因になります。



位置が正しくない場合、φ6の硬い丸棒等でトリガーキャッチャーを引っ掛けて正しいセット位置に戻す。



動画をご覧ください

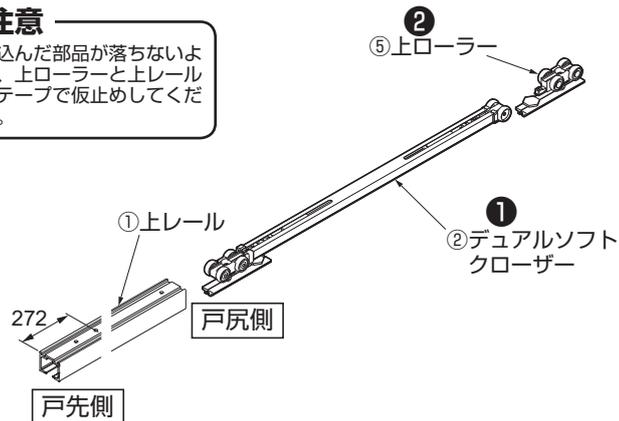


[5] 上レールへの部品の組み込み

各部件の向きに注意し、①、②の順に組み込む。

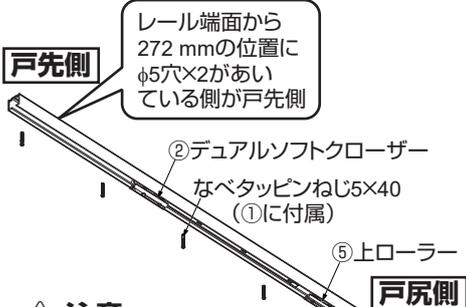
注意

- ① 組み込んだ部品が落ちないように、上ローラーと上レールを、テープで仮止めしてください。



[6] 上レールの取付け

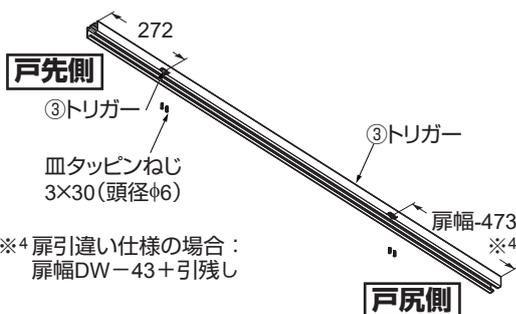
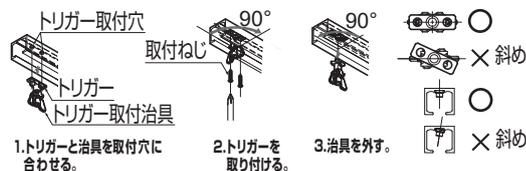
戸先側、戸尻側の向きに注意し、付属のねじで、上枠に固定する。



注意

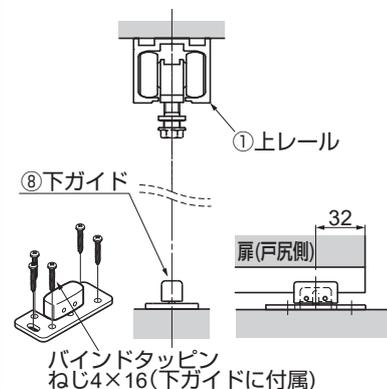
- ① 上レール内のごみや、アルミの切粉などは、きれいに取り除いてください。
- ② ねじの締めすぎや、ねじ頭の出っ張りに注意してください。レールの変形や、ソフトクローザーの誤動作につながります。

[7] トリガーの取付け



[8] 下ガイドの取付け

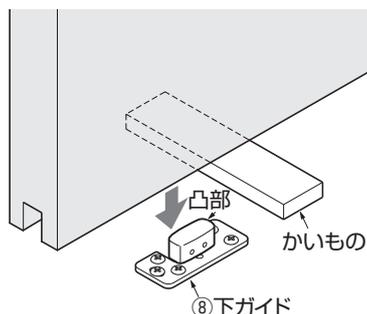
上レールの真下、かつ下ガイドの凸部が扉から外れない位置に取り付ける。



2 扉の吊込み、調整

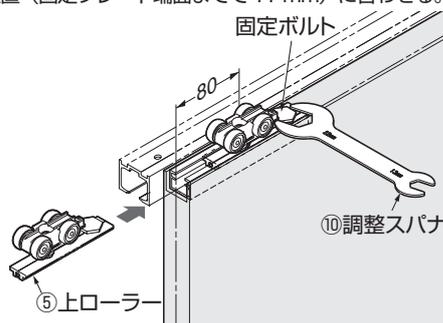
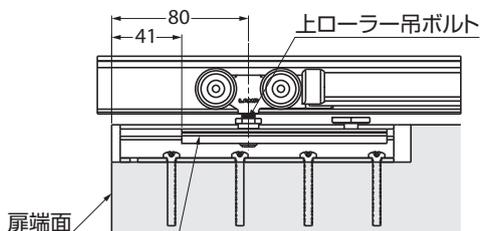
[1] 扉の吊込み (扉下部)

扉の下に10mmのかいものを置き、下ガイドの凸部に扉下の溝を重ねる。



[2] 扉の吊込み (扉上部)

- (1) 上ローラーを、扉に付いたハンギングブラケットへ横から差し込む。
- (2) 扉端面から、上ローラーの吊ボルトが80mmの位置(固定プレート端面までで41mm)に合わせる。
- (3) 固定ボルトを付属のスパナで締め付ける。

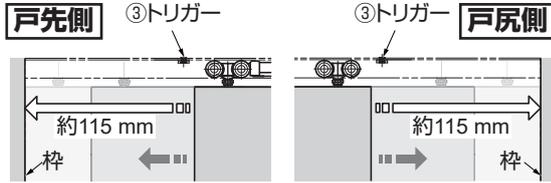


[3] ソフトクローザーの動作確認

- (1) 扉の下からかいものを外す。
- (2) 扉を戸先側にゆっくり動かし、ソフトクローザーがトリガーに当たり、扉がゆっくり、最後まで閉まることを確認する（閉じ始め位置は縦枠の約115 mm 手前）。
- (3) 戸尻側も同様に確認する。
- (4) クローザーが正しく機能しない場合は下記の **困ったときの対応** を参照。

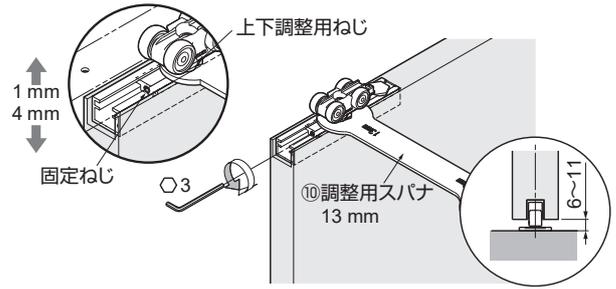
⚠ 注意

⊗ 扉を乱暴に閉めないでください。ソフトクローズ機構の故障の原因になります。



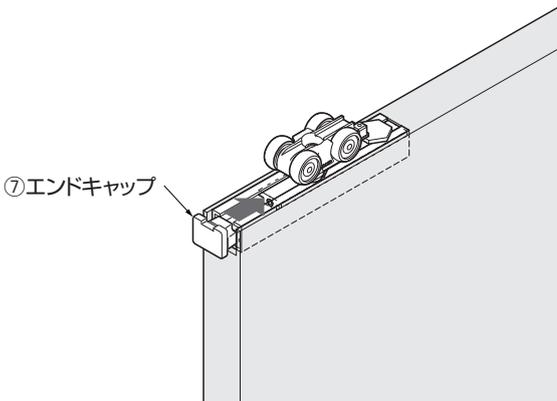
[4] 扉の高さ調整

- (1) 扉が上レールと平行で床面とのすき間が6~11 mmになるように調整する。
- (2) 調整後、上ローラーの固定ねじを付属の六角レンチで締め付ける。



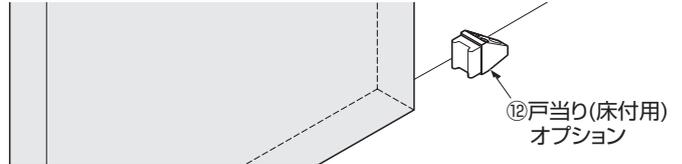
[5] エンドキャップの取付け

下図のようにエンドキャップを、扉端面のハンギングブラケットに押し込んで取り付ける。



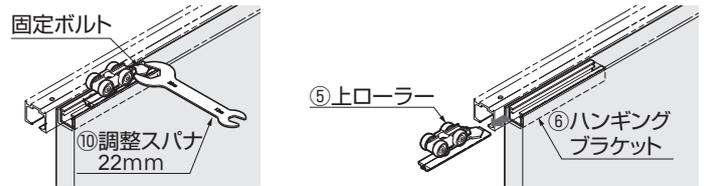
■ 戸当り（床付用）の取付け

扉を縦枠に当てない場合、オプションの戸当り（床付用）を必ず取り付ける。



■ 扉の外し方

- (1) 扉の下にかいものををはさむ。
- (2) エンドキャップを外す。(2-5項参照)
- (3) 固定ボルトをゆるめる。
- (4) 上ローラーをハンギングブラケットから引き出す。



- (5) 下ガイドから扉を外す。

定期点検

- ・レール内を掃除してください。
- ・扉の上下の隙間を確認し、必要に応じて調整してください。

困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法
扉がソフトクローズの途中で止まってしまう	床面または下ガイドに扉下面がこすっていませんか。	上レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さ調整をし、床面と扉下面との隙間が6~11 mmになるようにしてください。
	上レールが水平に取り付けてありますか。 モヘア等を使用していませんか。	水平器を利用して上レールを水平に付け直してください。 モヘア等と扉の摩擦を軽減してください。
扉がソフトクローズしない	トリガーが付いていますか。 扉を勢いよく閉じていませんか。	トリガーを指定の位置に取り付けてください。 扉を勢いよく閉じることは、故障の原因になりますのでおやめください。
	P.3 手順 [4] のトリガーキャッチャー位置が変わってしまった可能性があります（上レールに組み込んだ状態では確認できません）。	扉と上レールを取り外し、手順 [4] の確認をしてください。
扉の開閉時に異音が発生する	床面に扉下面が擦っていませんか。	上レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さ調整をし、床面と扉下面との隙間が6~11 mmになるようにしてください。
	扉が隣接する箇所とこすっていませんか。	扉が隣接するものとはすらないように扉の前後調整、または下ガイドの位置を調整してください。
	上レール内のローラーにごみやアルミの切粉が付着、または刺さっていませんか。	上レールを外し、ローラーを引き抜いてごみや切粉を取除いてください。
扉の開閉が重い	レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじに接触しないよう、ねじを締め直してください。
	床面に扉下面が擦っていませんか。	上レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さ調整をし、床面と扉下面との隙間が6~11 mmになるようにしてください。
扉が開閉しない	扉が隣接する箇所とこすっていませんか。	扉が隣接するものとはすらないように扉の前後調整、または下ガイドの位置を調整してください。
	上レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじに接触しないよう、ねじを締め直してください。
勝手に扉が開閉してしまう	上レールが水平に取り付けてありますか。	水平器を利用して上レールを水平に付け直してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL: 03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30
E-mail: support@sugatsune.co.jp

2022.01 0513-8